



『まもってくれて ありがとう運動』のモデル校に指定されまし

12月1日(木)朝、鈴鹿地区交通安全協会より、「まもってくれて ありがとう運動」の指定書をいただきました。そのあと、本郷バス停近くの横断歩道にて、交通安全協会の方、警察署の方、国府地区交通安全協会の方といつも見守っていただいている地域の方で交通指導をしていただきました。

横断歩道では「止まり左右確認、手を挙げて渡る」ということを子どもたちと確認しました。

「まもってくれて ありがとう運動」の推進モデル校の指定は令和2年度から始まり、本校で14校目となります。回覧用のお便りを裏面に載せましたので、ご覧ください。この運動は歩行者優先ルールの遵守を浸透させるだけでなく、子どもたちが止まってくれたドライバーにお礼を言うことで、将来、自分がドライバーになったとき、歩行者などに優しくありたい気持ちを育てるという意味も含まれています。

校区にはたくさんの信号がない横断歩道があります。止まっていたただいたドライバーには必ずお礼を言ったり、会釈をしたりするよう学校で話をしました。ご家庭でも横断歩道では右左右の確認をしてから渡ること、そして車が止まってくれたらお礼を言うことをお話していただきたいと思います。

また、保護者の方や地域の方から、「子どもたちが道いっぱいに広がって歩いている」「自転車で道の真ん中を走行している」「急に飛び出した」などの話も聞きます。日が暮れるのが早くなり、4時半を過ぎると見通しの悪い時期になってきました。学校でも話をしていますが、交通安全についてご家庭でも話をしていただき、「交通ルールを守って自分を守る」ようご指導よろしくお願いします。



のぼり旗2本(正門に立ててあります。)横断旗を7本いただきました。



2本



5本

